

自分の未来・社会の未来をデザインする

講師：公立はこだて未来大学教授 美馬のゆり氏

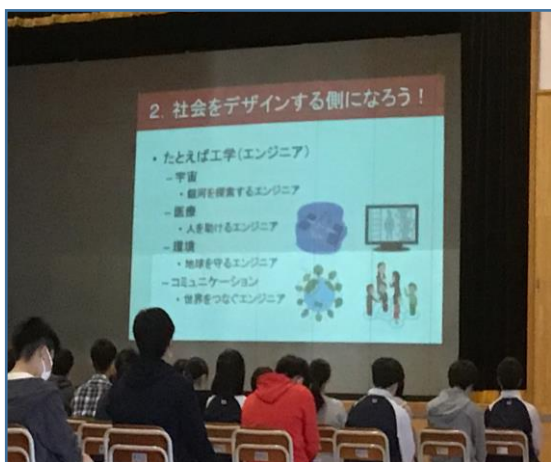


公立はこだて未来大学教授 美馬のゆり様をお招きし、学習デザイン講演会を行いました。

美馬先生からは

1. 世界の動向を知ろう
2. 社会をデザインする側になろう
3. 世界の課題を考えよう
4. 学習スタイルを知ろう
5. 自分の学びを調整する

の5点について、世界で行われている研究事例や、身近な例を交えて、「学ぶ意義」や「学ぶ楽しさを知ること」について講義をしていただきました。特に「魔法の杖を持つ」「バスに乗る」というハリーポッターやジブリの世界に通じるようなメッセージは、生徒たちの学ぶ意欲、将来を考える意欲を掻き立てていました。



美馬先生の話聞き、メモを取る生徒たち⇒

講義を聞いた後は質疑応答の時間もあり、講義を聞いて疑問に思ったことや学習上の悩みなどを積極的に質問していました。

講義の振り返りハンドアウトに、ぎっしりと感想や学んだことを書き留めている生徒が多く、学びが多い講演を聞いたことを喜ぶ声がたくさん聞かれました。



講演終了後の生徒の声

<今回の講演を聴いて、自分で行動に移してみたいと思ったこと>

・なにか自分の将来の選択肢が広がるようなバスが来たら乗ってみようと思えました。チャンスを逃すことの内容にしようと思いました。自分が知らなかった培養肉などの科学技術があることを知り、今学校で習っている教科だけでなく世界にあるたくさんの工業の科目などを調べてみようと思った。ものと語を一点だけでなくいろんな視点から見て、考えることでいろいろ知ることができるのでやってみようと思った。

・何か物事を始める時に目的を考えて実行する。人に自分の意見をきちんと言って相手の意見をきちんと聞く。何でもやらないと始まらないので自分の傾向を知っていききたい。

・自分にあった学習スタイルを見つけること。1つのことでも、多様な見方があるから、1つの考えに縛られずにいろんな考えを持とうと思った。

・進路を決める時には、消去法ではなく自分の将来を見据えたうえで選択すること。自分にあった学習スタイルを見つけていくこと。何かに積極的に挑戦していくこと。自分の前に現れたチャンスを自らつかみに行くこと。

・予見→遂行→省察というループが大切と知りました。予見とはこれからなんのために学ぶのか、どんな内容を聞くのかなど事前書き留めてみる。遂行は聞く内容について自分自身の体験と関連付けたり、ほかの人と意見を照らし合わせたりすること。省察は学んだ内容についてほかの人に離すこと。これを意識して物事に取り組むことでより深い学びにつながっていくらしいので、今後は授業や講演の時にこの3つのことを意識して考えてみようと思う。

<今回の講演を聴いて、何が一番役に立ったか>

・美馬先生が話していた、「バスが来たら乗る」が印象に残り、行動に移したいと思いました。自分はこれまでいくつものチャンスを逃してしまっていたので、これからは挑戦を恐れないで物事に取り組みたいと思いました。

・物事に取り組む時にとりあえず書き出して整理することが大切だということ。授業はみんなで作り上げるという言葉には納得した。今度から授業にもう少し積極的に参加しようと思った。

・変革を起こす力について。最近授業などを通して技術の進歩が与える人間や社会への影響などについて考えるようになっていて、今回の公演を聞いて、人間だからこそできることが、今までよりも具体的にわかったから。

・批判的な立場で考え、行動する力。今まではそのような思想はなかったし、新しい考えだったから大学で研究する際にもそれを生かしてみたいと思ったから。留学とかは自分には無理だと1歩引いていたが、日本とは違う世界の捉え方があることを知り、どんな考えがあるのか知りたくなったから。